

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	植物生態学						授業形態		講義	
科目コード	234600	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	渡部 俊太郎								ICT活 用	
授業概要	植物は生態系において太陽エネルギーを化学エネルギーに変換する「生産者」であり、同時に群落（植生）を形成して陸上バイオームの相親を特徴づける。そして植物群落（群集）の多様性は生物と物理環境あるいは生物の種内・種間にまたがる様々な相互作用によって、時空間的に変動することとなる。本講義では植物を主な対象に、生態学についての基礎的な知識と考え方を身につける。									
関連する科目	特になし									
授業の進め方 と方法	オンライン（リアルタイム遠隔）による授業を行う。授業終了後に質問・感想等をユニバーサルパスポートを通じて提出することが必要になる。									
授業計画 【第1回】	植物とは何か									
授業計画 【第2回】	大気の循環と気候帯の成立									
授業計画 【第3回】	植生の分布									
授業計画 【第4回】	植生の遷移									
授業計画 【第5回】	攪乱とギャップダイナミクス									
授業計画 【第6回】	植生と土壌・地下の世界									
授業計画 【第7回】	植物の繁殖様式と進化生態学									
授業計画 【第8回】	送粉と種子散布Ⅰ									
授業計画 【第9回】	送粉と種子散布Ⅱ									
授業計画 【第10回】	植物の個体群動態									

授業計画 【第11回】	競争と種の共存（理論的側面）
授業計画 【第12回】	競争と種の共存（実証的側面）
授業計画 【第13回】	生物多様性とその定量
授業計画 【第14回】	生物多様性の危機と保全
授業計画 【第15回】	陸上生態系の構造と機能
授業の到達目標	植物の分布と個体数にみられるパターンとその形成プロセスについて理解する。 植物群落の構造と動態について理解する。 生態系における植物の役割について理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	特になし
授業時間外学習【復習】	特になし
課題に対する フィードバック	特になし
評価方法・基準	授業態度（50%）と期末課題（50%）。授業の出席が2/3に満たない場合は原則として単位を認定しない。授業への出席確認は授業終了後にユニバーサルパスポートを通じて提出された質問・感想等をもって行う。
テキスト	特になし
参考書	生態学入門／（版情報）／日本生態学会／（出版社情報）／2012／9784807907830 植物の繁殖生態学／（版情報）／菊沢，喜八郎，1941-／（出版社情報）／1995／9784789130547 植物生態学／（版情報）／甲山，隆司，1954-／（出版社情報）／2004／9784254171198 動物生態学／（版情報）／嶋田，正和／山村，則男，1947-／2005／9784905930464 森林生態学／（版情報）／正木，隆，1964-／相場，博一郎／2011／9784320057364
備考	特になし